



平成29年2月17日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号
アップルインターナショナル株式会社
代表取締役会長兼社長 久保 和喜
(コード番号：2788 東証二部)
問合せ先 取締役管理本部長 清水 茂記
TEL (059) 347-3515

平成28年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月19日に公表しました平成28年12月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

平成28年12月期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年12月31日）業績予想数値の修正

【 連結 】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,232	863	910	702	56.33
今回修正予想 (B)	14,808	489	517	388	31.19
増減額 (B-A)	-2,423	-373	-392	-313	—
増減率 (%)	-14.1	-43.3	-43.2	-44.6	—
※ (ご参考) 前期連結実績 (平成27年12月期)	25,460	1,322	1,339	1,273	102.17

※前期連結実績（平成27年12月期）の数値につきましては、株式会社アイ・エム自販を連結子会社として含まれていた数値でございます。

当該子会社は、第1四半期連結累計期間に株式譲渡を行い、当社連結対象から除外されました。当該連結範囲の変更による影響の概要は、連結財務諸表の純資産額及び総負債額の減少、連結損益計算書の売上高、売上原価、販売費及び一般管理費、並びに営業外費用の減少であります。

詳細につきましては、平成28年1月22日の連結子会社の異動(株式譲渡)および特別利益の発生に関するお知らせをご参照下さい。

2. 修正の理由

- (1) 下期につきましては東南アジア諸国のマーケットが縮小傾向であり、平成28年12月期第3四半期決算短信の開示時点において、既に当初下期予想を下回る見込みでありましたが、下記(2)記載の営業債権の回収可能性による特別損益などを含め精査しておりました。その後、タイ国王崩御の影響等により、自粛ムードの買控えが広がり、当社の東南アジア諸国向け高額車両の販売台数も当初業績予想の数値に至りませんでした。よって、当連結累計期間の業績予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表予想を下回る見込みとなりました。
- (2) 当社は、マレーシア国における車両販売において、同国の税関局に不当に押収された車両96台の解放要求の申し立てならびに損害賠償請求をかねてより進めてまいりました。平成28年12月に同国における高等裁判所より当社の主張が認められ、損害賠償金の入金により特別利益約2.7億円を計上する予定でありましたが、その後被告側の上告申し立てが受理され引き続き係争を進めることとなりました。その結果、平成28年12月期通期業績予想修正の公表が本日になりました。本件は判決等が確定次第、速やかにお知らせいたします。

なお、平成28年12月期決算短信につきましては平成29年2月20日を開示予定としております。平成29年12月期の業績予想につきましては、上記(2)の影響を織り込まずに公表する予定です。

- (注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合がございます。

以上